

報道各位

株式会社エフエム東京

TOKYO FM、CEATEC JAPAN 2010にて V-LOW 帯マルチメディア放送の展示を実施

株式会社エフエム東京(東京都千代田区、代表取締役社長: 富木田道臣、以下「TOKYO FM」)は、10月5日(火)～9日(土)、幕張メッセにて開催される「CEATEC JAPAN 2010」内のデジタルネットワークステージ/ビジネス&ソサエティゾーン(ブース番号 2B01)にて、3セグメント放送形式を使ったV-LOW 帯マルチメディア放送をイメージした展示を実施いたします。

展示内容は以下の通りです。

1. TOKYO FM が構想する車載機向けマルチメディア放送サービス(車内展示)

- ①カーナビ連動型 V-LOW マルチメディア放送コンテンツ
- ②2ch ステレオ音声でのヴァーチャルサラウンドラジオ放送
- ③放送波とITS の融合コンテンツ
(資料提供協力:長崎 EV&ITS プロジェクト、カーナビ展示協力:アルパイン社)

2. 福岡ユビキタス特区マルチメディア放送実験試験局での実験

- ①西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)のモバイル道路交通情報サービス「iHighway」の放送波による配信実験
- ②「放送波バスサイネージ」(西鉄バスで実験中)
- ③「船舶パーソナルサイネージ」(JR九州高速船「ビートル」船内で実験中)
- ④IPDC 受信機(放送・通信ハイブリットマルチメディアチューナ、CSK システムズ社※開発品)
※10月1日付で株式会社 CSK ホールディングスと経営統合し、株式会社 CSK に社名変更
- ⑤データ放送コンテンツマネージメントシステム「Freesia」(クワトロメディア社開発)

3. マルチメディア放送の受信を想定したデジタルサイネージ

また TOKYO FM はデジタルネットワーク部門で、以下の出展者セミナーも開催します。

■「V-LOW マルチメディア放送の未来～放送波が変えるカーナビ、家電、スマートフォン～」

講師:仁平成彦(TOKYO FM マルチメディア放送事業本部 副本部長)

宮島恒敏((株)CSKシステムズ※ ITソリューション社 福岡ユビキタス特区プロジェクト 特区活用チームリーダー)

※10月1日付で株式会社 CSK ホールディングスと経営統合し、株式会社 CSK に社名変更

開催日時:10月6日(水) 12:30~13:30

開催場所:展示ホール3

TOKYO FM は、今後も福岡ユビキタス特区「3セグメントマルチメディア放送実証実験」を通して、V-LOW 帯マルチメディア放送の先行実験を実施し、放送波を利用した様々なサービス開発を行っていきます。

■TOKYO FM がイメージするマルチメディア放送によるカーナビゲーションサービス



カーナビ(左)と、放送で送られるデータ放送画面(右)を連動させ、番組で紹介した地域情報などをカーナビ上に表示。(サービスイメージであり、実際に策定される技術規格とは異なる場合があります)

■バスサイネージ実験(福岡・天神周辺走行中)



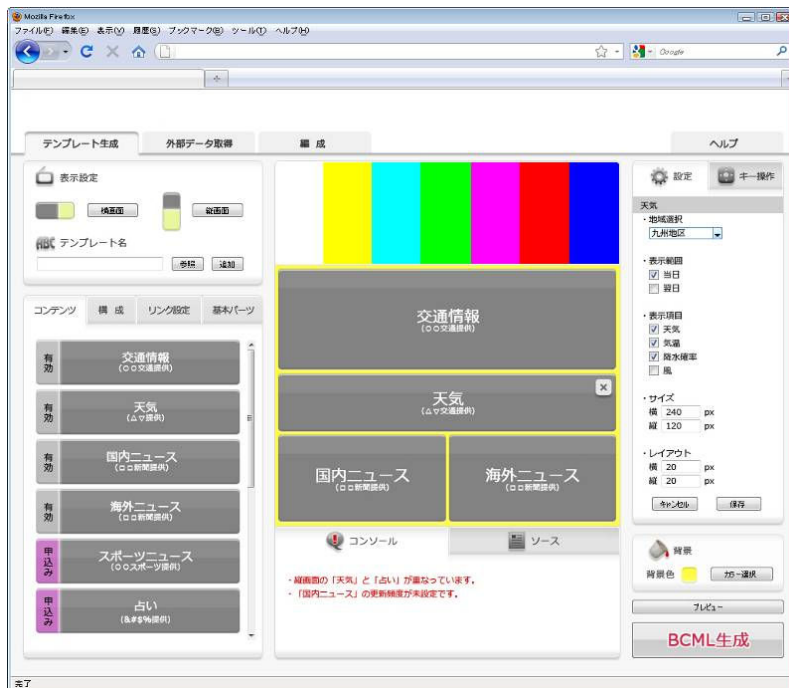
路線バス車内前方に設置したデジタルサイネージ端末のコンテンツを、放送波で最新のものに更新。コンテンツは IPDC 方式で送信し、バスの走行中にデータを受信し更新するもの。

■船舶パーソナルサイネージ(実機)



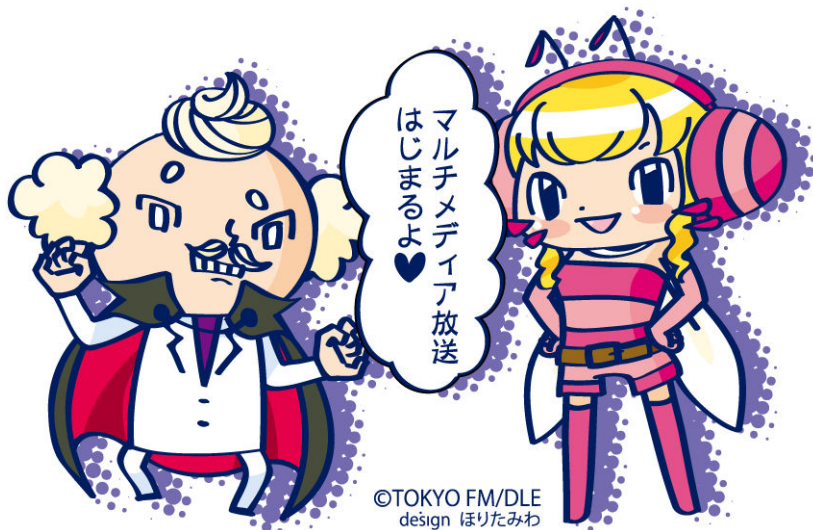
JR 九州高速船「ビートル」船内で貸し出す7インチ型のパーソナルサイネージ(フォトフレーム)。福岡停泊中にマルチメディア放送の電波を使って、コンテンツを最新のものに更新するもの。コンテンツは IPDC 方式で送信される。

■データ放送コンテンツマネジメントシステム「Freesia」



V-LOW 帯マルチメディア放送のデータ放送コンテンツをデザインパーツを組み合わせることで簡単に生成出来るオーサリング機能や編成管理機能、外部データ連携機能などを提供。

■TOKYO FM マルチメディア放送イメージキャラクター



以上